



所 須 坂 市 公 民 館 分 館
編 集 兼 発 行 者 須 坂 市 公 民 館 分 館
発 行 責 任 者 坂 口 豊
印 刷 所 藤 井 印 刷 所
佐 藤 印 刷 所

町 勢
世 帯 数 1,138 戸
人 口 男 1,332 名
女 1,339 名
計 2,671 名
11 月 1 日 現 在

本来なら退任挨拶 でも来年も続投

分館長 坂口 豊

コロナが世に出始めて3年目を迎えようとしておりますが区民の皆様お変わりなくお過ごしと察し申し上げます。分館長として一年役員と共に活動をして参りましたがやはり今年もコロナの勢いに負け最大のイベントである3月の塩川町単独の文化祭、運営委員会研修会、盆踊り、子供大会の行事を実施すべく会議を行い準備をして参りましたがタイミング悪くコロナ拡大が広まりやむなく中止に追い込まれました。

ただ今年度は教養講座はコロナ感染対策を実施し公会堂で3回程開講致しました。4月終わりに安協・長生会との共催で須坂警察交通課係長の小林様に講師をお願いし交通安全講座『安全運転とラウンドアバウトの走行について』講演を頂き41名の方々が聴講されました。5月には健康講座を開催、誰もがかかりうる認知症について地域包括センターキャラバ

ンメイト 講師 島田様に講演を頂き大勢の方に聴講頂きました。この内容は録画して保存しておりますので視聴されたい方は連絡頂ければ貸し出し可能です。人権問題学習会は年2回町別で開催でしたが今年は7月に7町合同学習会を行い10月に町別開催で最近の『人権課題について・外国人・LGBT・発達障害と人権』について須坂市人権交流センター館長 島山様にお越し頂き参加者41名の方々が最近の人権問題について学習されました。

スポーツでは殆どコロナにより開催中止(市共催含む)される中、唯一3年振りに開催されたソフトボールで塩川町は第3位に輝きました。選手も久しぶりに晴天のしたで試合を堪能し区長はじめ、区体育部長も応援に集まり久しぶりに楽しい時間を過ごすことが出来ました。やはりマスクなしの大声の声援はいいものでした。本来ならばこの12月で退任でしたが次期分館長不在のため来年も続投になりましたので今年以上に区民の皆様のご協力とご支援をお願い致します。

退任の挨拶

分館事業部長 青木清志

昨年2月に急きよ分館事業部の役員を引き受けることになりました。

しかし、コロナ禍で予定していた行事の殆どが中止となり、毎月の会議に出席する程度の活動。

今夏に予定した盆踊り大会は感染対策を万全にして実施する方向でいりましたが、直前にコロナの第7波によってまたも中止。何の活動も出来ずに退任することとなりとても残念であります。来年こそは通常の活動ができることを願っています。

退任・活動を振り返って

分館体育部長 佐藤正章

公民館体育部を2年間の任期を終え退任となりました。

思い起こせば任期中の2年間はコロナウイルスの感染拡大体育部活動がほとんど中止を余儀されていたなか日野地区全7チーム参加のソフトボール大会がトーナメント方式で実施されました。

来年こそはコロナ感染が減少し区体育企画運営部会が主体となり日野地区球技大会、各種体育行事等、分館体育部としての活動が行えることと思えます、これからも大勢の方のご参加をいただき交流の場となることを願っています。

リレー日記

こんにちは、75組の竹前絵美子さんからバトンを受けとりました90組の春原有美子です。リレー日記が、分館報の新コーナーとして始まった当時から、同じ町内の方の話題を楽しみに拝読しておりました。そのバトンを受けさせていただきましたが、私自身趣味もなく、日々苦手な家事と仕事に追われているだけという事に気づきました。

絞りだしてみましたが、一つ、日常にいつもスポーツがあり、オリンピック、高校野球、駅伝など、毎年、毎月、季節ごとの「スポーツを見る」ということが、楽しみであります。

子どもたちがチャイリング、野球をやっている頃は、毎週土日は追っかけに行くのが楽しみで、日常にスポーツがありました。今はすっかり、テレビの中の選手のプレイに、大声で一喜一憂し、いつも感動をもらっています。地元新聞のスポーツ欄でも、塩川町の方や、知り合いを探すことも好きで、すごいなあと思っています。

スポーツに限らず、文化活動や生涯スポーツをされている方のように、私もこの先何か打ち込めることを探したいと思います。

まずは好きな「スポーツをする」「スポーツを見る」から少しずつ楽しんでいきたいと思えました。コロナの影響で、無観客や中止が相次いでいたスポーツ大会やプロスポーツの試合を、来年はぜひ会場に行き、生でスポーツ観戦することも楽しみのひとつです。

人権問題学習会

主事 田子淳一

今年度の塩川町人権問題学習会は10月29日公会堂にて須坂市人権交流センター館長の畠山信重先生を講師にお迎えし行われました。

まず、日野小学校の森山先生より小学校での取り組みについてお話があり、日々先生方が子供たちに人権教育を行われているという事で大変感銘致しました。続いて、DVD「シヤアしてみたらかったこと」を鑑賞しました。東京にあるシヤアハウスのお話でした。

ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下暮らしている。

ある女性が上京して、期待を胸に入居したシヤアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちの交流のなかで、外国人、LGBT、発達障害の人たちとの関わり方の内容でした。

LGBTについては何となく聞いたこ



とがありました。詳しくはLGBTは、セクシュアルマイノリティの総称のひとつ。さまざまな単語の頭文字によって構成されている言葉です。

・Lレズビアン (Lesbian) 女性同性愛者とも呼ばれ自分を女性として自認し、女性のことを好きになる性のあり方。

・Gレイ (Gay) 男性同性愛者とも呼ばれ自分を男性として自認し、男性のことを好きになる性のあり方。

・Bバイセクシュアル (Bisexual) 両性愛者とも呼ばれ男女両方とも好きになる性のあり方

・Tトランスジェンダー (Transgender) 心と体の性が一致していない人

これらの英語の頭文字から構成されているL



GBTとの事でした。

人間（特に日本人）は周りと同じように生きて行くこととする人が多いとのお話もありましたが、自分と異なったり、周りの人たちと異なったりする人たちを無意識のうちに差別しているじゃないのかと、今回の学習会で気づかされました。

知識が少ない、世の中が変化している、ここから学習会等に参加して、意識を変えて行くいいきっかけになりました。



編集後記

令和四年の分館活動もコロナ感染が急速に拡大しやむなく中止となることが多くなる中でも、大勢の区民の皆様いろいろなところ参加していただき、おかげさまで無事終えることが出来ました。

令和五年は分館活動ができる年になるよう期待しています、一月からは新メンバーが加わり活動が始まります、来年も今年以上に大勢の区民の皆様に参加していただき分館活動が盛り上がることを願っています。

今年で以下の分館役員が退任致します。

- 事業部 青木 清志
- 社会部 小林 澄子
- 堀崎 恵一
- 富永 あや子
- 体育部 佐藤 正章
- 松澤 ひろ子

在任期間中は大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

分館社会部長 堀崎 恵一